

五霞町公共施設等総合管理計画を

策定しました

町では、平成29年度から平成68年度までの40年間を計画期間とする「五霞町公共施設等総合管理計画」を策定しました。

計画策定の背景と目的

高度経済成長長期に整備された公共施設等が老朽化等により、一斉に更新時期を迎えています。また、全国的に高齢化、少子化による人口減少の傾向にあり、国や県、町の財政状況も厳しい状況の中で、全ての公共施設等を維持更新するのは難しい状況です。

町では、平成26年4月に総務省から示された「公共施設等総合管理計画の策定にあたっての指針」に基づき、「五霞町公共施設等総合管理計画」（以下、「総合管理計画」という。）を平成29年3月に策定しました。

本計画は、町が保有する公共施設等を、適正に管理運営し、安心・安全に次世代につなぐことを目的とします。また、対話と協働により、幅広い世代の町民と行政が一体となって、町の未来を共に創る計画とします。

基本方針

1. みんなが使いたい施設にしよう！
2. 小さい子からお年寄りまで安心・安全に！
3. 身の丈に合ったものになろう！

4. 広域化を進めよう！
5. 未来に引き継ごう！

目標

一般施設（建物）の目標

目標達成のために原則行いつつ

1. 単体での建替えは行わず、統合・複合化を進めます。（更新時期よりも前に統合・複合化をした方が費用を抑制できる場合、機能面の向上が期待できる場合は、積極的に検討します。）
2. 統合・複合化ができない場合は、建替え前の面積より20%以上削減します。
3. 建物の更新等判断基準に基づき、長寿命化を図ります。

インフラ施設の目標

目標達成のために原則行いつつ

1. 上下水道管の更新に併せ、道路の更新や橋梁架設を総括的に調整することで、重複する経費を削減します。
2. 長寿命化させるために部分的修繕を効果的に行います。
3. 下水道施設の統合を検討し進めます。
4. 上下水道の合理化・広域化について早期に検討し進めます。

目標：インフラ施設の抜本的見直しを前提とした長寿命化や広域化、施設（建物）統合により、更新費用の削減を目指す

今後は、総合管理計画に基づき、公共施設等全体の修繕・更新等の発生時期を見通したうえで、分野横断的な視点も踏まえながら、4カ年で対応すべき施設を抽出し、財政収支を考慮した事業化を図るための実施計画としてアクションプランを策定し、推進していく予定です。

お問い合わせ

政策財務課 財務G

☎(84)11111（内線222）

目標：将来コストを50%削減する
40年間試算合計約160億円↓約80億円（年間平均約4億円↓約2億円）



対話の場（ミニサロン）の様子